

《歯学部》アドミッション・ポリシー

本学は、「医療人たる前に、誠の人間たれ」という建学の精神のもとに、地域医療に貢献する医療人育成を使命として設立されました。学則には、「まず人間としての教養を高め、十分な知識と技術とを習得し、更に進んでは専門の学理を極め、実地の修練を積み、出では力を厚生済民に尽くし、入っては真摯な学者として、斯道の進歩発展に貢献する」ことが掲げられています。歯学教育・教養教育を通して、優れた資質と深い人間愛を有する医療人、研究者、人格的に成長できる人材の育成が、本学の目指すところです。

歯学部では、次のような人材を求めています。

1. 全人的な立場で周囲と交流できる協調性のある人
2. 明確な目的意識を持って、積極的に社会貢献のできる人
3. 科学的な思考のもとに周囲の現象を捉えることができる人
4. 医学や歯学を生涯学習の対象として捉え、意欲的に勉学のできる人
5. 国際社会における医療や研究活動に、積極的に参加する意欲のある人

多様な人材を募るために、一般入試、推薦入試、編入試験を行います。また、大学入試センター試験を利用した入学試験も行っています。

一般入試では、高等学校で履修する3教科（理科、数学、外国語）についての筆記試験と面接試験によって、入学後の修業に必要な学力を有していることを確認します。筆記試験のなかで、とくに生命科学を学ぶための基礎学力を身につけていることが大切であることから理科を必須科目としています。また、歯学部での学習に必要な基礎知識やコミュニケーション能力を有していることを確認するために、「数学」、「英語」の試験を課します。面接試験は歯科医師をめざす熱意、具備すべき一般常識、社会との協調性などを確かめます。これらの試験を通して、歯科医師にふさわしい資質とバランスの取れた人格とを備えているかの総合的な判断をおこないます。

推薦入試では、志望理由書や調査書に基づいて学習に必要な基礎知識を有しているかを確認するとともに、小論文と面接試験によって歯科医師をめざすために必要な基礎知識や一般常識などを質し、総合的に判断します。

編入学制度は、高い目的意識をもった他専門領域の履修者あるいは社会経験者を受け入れ、それらの経験を生かしながら歯科医師としての知識・態度・技能を修得するために実施しています。選抜は小論文と面接とでおこない、これらのなかで歯科医師をめざす熱意とともに、基礎知識や一般常識を質し、勉学する資質を備えているかを判断します。

なお、入学者の受け入れにあたっては、民族、宗教、国籍、性別および性的指向などを問わず、多様な人材を募集します。

《歯学部》同窓生子女特別入学試験

募集人員 若干名

出願資格

次の要件をすべて満たしている者

1. 高等学校または中等教育学校（文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む）を平成30年3月に卒業した者、および平成31年3月卒業見込みの者
2. **調査書の全体の評定平均値が3.5以上**の学力を有し、学業および生活態度が優秀であり、かつ歯科剤師となるにふさわしい幅広い資質を備えた者
3. 合格した場合、入学を確約できる者
4. 原則として3親等以内の親族に圭陵会員（本学同窓生等）がいる者
5. 将来、医療人としての活躍を希望する者
6. 上記4以外の圭陵会員（在学中の学生を除く）の推薦を経て、圭陵会会長が承認する者

入試日程・試験場

出願期間（消印有効）	平成30年10月29日（月）～11月7日（水）
試験日	11月18日（日）
試験会場	本学：矢巾キャンパス
合格発表日時	11月26日（月）16時
入学手続締切日	12月7日（金）

選抜方法

試験結果、ならびに出願書類により評価を総合的に審査し、合格者の選抜を行います。

時間	9:00～9:50	10:10～
教科	小論文	面接 (1人あたり20分程度)